

2017年度の産学連携プログラムの実施状況

Industry-University Consortium on Logistics

流通経済大学流通情報学部では、2010年度からロジスティクス産学連携プログラムを正式に立ち上げました。今年度が8年目であり、プログラムが確実に定着してきました。プログラムの講師は、ロジスティクス関連の業界団体、物流業、運輸業、メーカー、卸売業、小売業、コンサルタントなど、企業を中心とした幅広い人材で構成されております。

ロジスティクス産学連携プログラムとして、「ロジスティクス実践講座」、「物流マネジメント実践講座」、「国際物流実践講座」、「情報システム実践講座」、「ダイレクトマーケティング実践講座」、「ロジスティクス企業訪問講座」、「ロジスティクス改善演習」の7科目、さらに関連する寄付講座として、「日本通運寄付講座」、「全国通運連盟寄付講座」の2科目があります。2017年度の実施状況の概要をご報告させていただきます。「日本通運寄付講座」は、春学期に龍ヶ崎キャンパス、秋学期に新松戸キャンパスで開講し、それぞれ全15回、日本通運NITTSUグループユニバーシティの山根泉氏に講義をしていただきました。

なお、2017年度入学生より、カリキュラムの見直しにより、「情報システム実践講座」、「ダイレクトマーケティング実践講座」、「ロジスティクス企業訪問講座」、「日本通運寄付講座」、「全国通運連盟寄付講座」を2学年以

降の履修科目、「ロジスティクス実践講座」、「物流マネジメント実践講座」、「国際物流実践講座」、「ロジスティクス改善演習」を3学年以降の履修科目としました。また、2018年度より、新松戸キャンパスで「IoTロジスティクス実践講座」、龍ヶ崎キャンパスで「地域ロジスティクス実践講座」を開講します。

①「ロジスティクス実践講座」の2017年度の実施状況

「ロジスティクス実践講座」は、荷主企業等を中心にロジスティクス実務者を招き、各企業のロジスティクスシステムの現状を学び、ロジスティクスの考え方を現場から考えていくことを目標としています。また、環境問題あるいは災害時対応といった新たな問題についても学びます。ロジスティクス実践講座Ⅰが春学期、ロジスティクス実践講座Ⅱが秋学期に、龍ヶ崎、新松戸の両キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表1、表2のとおりです。新松戸の受講生数は春学期77人、秋学期74人でした。龍ヶ崎の受講生数は春学期36人、秋学期31人でした。

②「物流マネジメント実践講座」の2017年度の実施状況

「物流マネジメント実践講座」は、トラック、鉄道、3PL等の物流事業者及び有識者を招き、ロジスティクス管理に関する現状を学ぶことを目標としています。また、企業の物流

ロジスティクス産学連携コンソーシアムの紹介

表1 「ロジスティクス実践講座IIIー春学期、秋学期、龍ヶ崎」の2017年度の実施結果
春学期(36名)、秋学期(31名)

回	テーマ	講師
1	ガイダンスとロジスティクスの基礎知識	流通経済大学 矢野裕児
2	ロジスティクス概論	元 公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 石井徹郎氏
3	企業のロジスティクス戦略の変遷-1	元 (株)日通総合研究所 廣瀬吉英氏
4	企業のロジスティクス戦略の変遷-2	元 (株)日通総合研究所 廣瀬吉英氏
5	ロジスティクスの最新動向	山田経営コンサルティング 山田健氏
6	流通業におけるロジスティクスの展望	ロジスティクス経営士 楠堂昌純氏
7	地球環境問題と国際化	みずほ情報総研(株) 秋山浩之氏
8	物流改善のポイントは-1	紙中コンサルティング 紙中英伸氏
9	物流改善のポイントは-2	紙中コンサルティング 紙中英伸氏
10	ロジスティクスと包装	公益社団法人 日本包装技術協会包装技術研究所 金子武弘氏
11	ロジスティクス企業に期待されていること	日通情報システム(株) 藤田光樹氏
12	トラック輸送の実態とドライバー不足問題について	(株)日通総合研究所 大島弘明氏
13	ロジスティクスと環境-1	(株)ロジスティクス革新パートナーズ 菅田勝氏
14	メーカーサプライチェーンロジスティクスー東芝の事業競争力強化に向けたロジスティクス戦略	(株)東芝 正木裕二氏
15	ロジスティクスと環境-2	(株)ロジスティクス革新パートナーズ 菅田勝氏
16	カルビーのSCMの取組み	スナックフードサービス(株) 一山幸市氏
17	物流不動産ビジネス	イーソウコ(株) 大谷巖一氏
18	物流改善の実際	紙中コンサルティング 紙中英伸氏
19	企業物流と物流業界の最近の動向-1	(株)日通総合研究所 長谷川雅行氏
20	都市内物流の効率化について	(株)日通総合研究所 大島弘明氏
21	企業のリクルート活動と人材育成	(株)あんしん 雨宮路男氏
22	カスミにおけるSCMの特徴と改善の取組み	(株)カスミ 齋藤雅之氏
23	加工食品コールドチェーンにおける課題とその改善策について	元 明治乳業(株) 櫻井保氏
24	企業物流と物流業界の最近の動向-2	(株)日通総合研究所 長谷川雅行氏
25	物流のソリューション営業とその事例	(株)ロジスティクス・ネットワーク 立川哲二氏
26	味の素(株)・味の素物流(株)のロジスティクス戦略	SCMソリューションデザイン 元味の素物流(株) 魚住和宏氏
27	マーケットプレイスの仕組み	(株)インフォーマット 藤田尚武氏
28	食品ロスとリサイクル	一般社団法人食品ロスリポーションセンター 元国分(株) 山田英夫氏
29	中小企業の生き残りをかけた取組み	十和運送(株) 結束洋氏
30	激変する物流への課題	一般社団法人 日本物流資格士会 元ハウス物流サービス(株)社長 早川哲志氏

表2 「ロジスティクス実践講座IIIー春学期、秋学期、新松戸」の2017年度の実施結果
春学期(77名)、秋学期(74名)

回	テーマ	講師
1	ガイダンスとロジスティクスの基礎知識	流通経済大学 矢野裕児
2	ロジスティクス概論	元 公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 石井徹郎氏
3	企業のロジスティクス戦略の変遷-1	元 (株)日通総合研究所 廣瀬吉英氏
4	企業のロジスティクス戦略の変遷-2	元 (株)日通総合研究所 廣瀬吉英氏
5	ロジスティクスの最新動向	山田経営コンサルティング 山田健氏
6	流通業におけるロジスティクスの展望	ロジスティクス経営士 楠堂昌純氏
7	地球環境問題と国際化	みずほ情報総研(株) 秋山浩之氏
8	物流改善のポイントは-1	紙中コンサルティング 紙中英伸氏
9	物流改善のポイントは-2	紙中コンサルティング 紙中英伸氏
10	トラック輸送の実態とドライバー不足問題について	(株)日通総合研究所 大島弘明氏
11	大学祭休講	大学祭休講
12	ロジスティクス企業に期待されていること	日通情報システム(株) 藤田光樹氏
13	ロジスティクスと環境-1	(株)ロジスティクス革新パートナーズ 菅田勝氏
14	メーカーサプライチェーンロジスティクスー東芝の事業競争力強化に向けたロジスティクス戦略	(株)東芝 正木裕二氏
15	ロジスティクスと環境-2	(株)ロジスティクス革新パートナーズ 菅田勝氏
16	カルビーのSCMの取組み	スナックフードサービス(株) 一山幸市氏
17	都市内物流の効率化について	(株)日通総合研究所 大島弘明氏
18	物流のソリューション営業とその事例	(株)ロジスティクス・ネットワーク 立川哲二氏
19	企業物流と物流業界の最近の動向-1	(株)日通総合研究所 長谷川雅行氏
20	カスミにおけるSCMの特徴と改善の取組み	(株)カスミ 齋藤雅之氏
21	花王のロジスティクスシステム	花王(株) 山口裕人氏
22	物流改善の実際	紙中コンサルティング 紙中英伸氏
23	食品ロスとリサイクル	一般社団法人食品ロスリポーションセンター 元国分(株) 山田英夫氏
24	物流不動産ビジネス	イーソウコ(株) 大谷巖一氏
25	中小企業の生き残りをかけた取組み	十和運送(株) 結束洋氏
26	味の素(株)・味の素物流(株)のロジスティクス戦略	SCMソリューションデザイン 元味の素物流(株) 魚住和宏氏
27	企業物流と物流業界の最近の動向-2	(株)日通総合研究所 長谷川雅行氏
28	激変する物流への課題	一般社団法人 日本物流資格士会 元ハウス物流サービス(株)社長 早川哲志氏
29	まとめ	流通経済大学 矢野裕児

表3 「物流マネジメント実践講座－春学期、新松戸」の2017年度の実施結果(33名)

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 小野秀昭
2	講座受講に必要な知識	流通経済大学 小野秀昭
3	トラック運送産業の概要	一般社団法人東京都トラック協会 井上豪氏
4	美術品の輸送のポイント	元 日本通運(株)美術品 後藤泰弘氏
5	鉄道貨物輸送の仕組みとJR貨物の取り組み	日本貨物鉄道(株) 和田智秀氏
6	宅配便の開発と成長過程	ヤマト運輸(株) 野瀬信幸氏
7	3PLの役割と実例	川崎陸送(株) 樋口恵一氏
8	物流における倉庫の役割	一般社団法人日本倉庫協会 田代信行氏
9	重量品輸送(道なき山奥へ風力発電輸送、真夜中の新幹線輸送、海外の巨大プラント建設)	(株)日通総合研究所 福島茂明氏
10	内航海運の現状	独立行政法人海上技術安全研究所 間島隆博氏
11	コンビニ配達の現状と課題	大島運輸(株) 大島弥一氏
12	ロジスティクス分野のIT活用事例	(株)野村総合研究所 足立研二氏
13	市場流通の役割と実際	コンサルアグリ 藤井憲雄氏
14	講座の復習とまとめ①	流通経済大学 小野秀昭
15	講座の復習とまとめ②	流通経済大学 小野秀昭

表4 「物流マネジメント実践講座－秋学期、龍ヶ崎」の2017年度の実施結果(13名)

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 小野秀昭
2	講座受講に必要な知識	流通経済大学 小野秀昭
3	トラック運送産業の概要	一般社団法人東京都トラック協会 井上豪氏
4	市場流通の役割と実際	コンサルアグリ 藤井憲雄氏
5	宅配便の開発と成長過程	ヤマト運輸(株) 野瀬信幸氏
6	鉄道貨物輸送の仕組みとJR貨物の取り組み	日本貨物鉄道(株) 吉田真也氏
7	美術品の輸送のポイント	日本通運(株) 浅賀博靖氏
8	内航海運の現状	国立開発研究法人海上技術安全研究所 松倉洋史氏
9	3PLの役割と実例	川崎陸送(株) 樋口恵一氏
10	コンビニ配達の現状と課題	大島運輸(株) 大島弥一氏
11	ロジスティクス分野のIT活用事例	(株)野村総合研究所 足立研二氏
12	物流における倉庫の役割	一般社団法人日本倉庫協会 田代信行氏
13	重量品輸送(道なき山奥へ風力発電輸送、真夜中の新幹線輸送、海外の巨大プラント建設)	(株)日通総合研究所 福島茂明氏
14	講座の復習とまとめ①	流通経済大学 小野秀昭
15	講座の復習とまとめ②	流通経済大学 小野秀昭

表5 「国際物流実践講座－春学期、新松戸」の2017年度の実施結果(54名)

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 林克彦
2	船会社の国際物流戦略	オーシャントランス(株) 辰巳順氏
3	インテグレータの国際物流戦略航空	FedEx 山口邦男氏
4	ロシアの最新物流事情	公益財団法人 環日本海経済研究所 辻久子氏
5	欧州の最新物流事情	流通経済大学 林克彦
6	航空会社の国際物流戦略	(株)ANA Cargo 谷村昌樹氏
7	商社の国際物流管理	住友商事(株) 河野達也氏
8	海上貨物フォワーダーの国際物流戦略	日本通運(株) 石橋斉氏
9	航空フォワーダーの国際物流戦略	日本通運(株) 望月和徳氏
10	物流企業の海外展開(中国)	日本通運(株) 小野文吾氏
11	ASEANの最新物流事情	(株)日通総合研究所 細山田優氏
12	米国の最新物流事情	(株)日通総合研究所 田阪幹雄氏
13	国際物流サービスの実際	流通経済大学 林克彦
14	インドの最新物流事情	流通経済大学 林克彦
15	まとめ	流通経済大学 林克彦

戦略や多様な物流サービスの事例といった最新の動きについても学びます。半期科目であり、春学期は新松戸キャンパスで、秋学期は龍ヶ崎キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表3、表4のとおりです。新

松戸の受講生数は33人、龍ヶ崎の受講生数は13人でした。

③「国際物流実践講座」の2017年度の実施状況

「国際物流実践講座」は、国際物流に携わ

ロジスティクス産学連携コンソーシアムの紹介

表6 「情報システム実践講座－春学期、新松戸」の2017年度の実施結果(48名)

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 増田悦夫
2	ロジスティクスにおける戦略立案のIT活用	(株)日本ビジネスクリエイト 後藤一孝氏
3	ロジスティクスと情報システム	(株)フレームワークス 秋葉淳一氏
4	地図と人口統計を用いたチェーン企業のエリアマーケティング	技研商事インターナショナル(株) 市川史祥氏
5	Webシステム開発の現状と今後	ヒューマネテック(株) 田中裕樹氏
6	ドローンによる物流の現実と問題点	ドローンワークス(株) 今村博宣氏
7	物流効率化とこれからの取り組み	(株)日通総合研究所 要藤洋文氏
8	ITを活用した作業分析	(株)日本ビジネスクリエイト 後藤一孝氏
9	SCMに於ける情報セキュリティの課題	飛天ジャパン(株) 傘義冬氏
10	物流作業におけるスマートデバイス物流情報機器導入について	日立物流ソフトウェア(株) 小林道明氏
11	TMSの役割と活用	光英システム(株) 池田勝彦氏
12	物流現場力強化のための物流技術	(株)MTI 栗本繁氏
13	パレットにおけるRFIDの利活用	日本パレットレンタル(株) 永井浩一氏
14	情報システム構築におけるプロジェクトマネジメントの実践	ヒューマネテック(株) 吉山洋一氏
15	まとめ	流通経済大学 増田悦夫

表7 「情報システム実践講座－秋学期、龍ヶ崎」の2017年度の実施結果(19名)

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 増田悦夫
2	ロジスティクスにおける戦略立案のIT活用	(株)日本ビジネスクリエイト 後藤一孝氏
3	ロジスティクスと情報システム	(株)フレームワークス 秋葉淳一氏
4	ドローンによる物流の現実と問題点	ドローンワークス(株) 今村博宣氏
5	TMSの役割と活用	光英システム(株) 池田勝彦氏
6	大学祭休講	大学祭休講
7	物流作業におけるスマートデバイス物流情報機器導入について	日立物流ソフトウェア(株) 小林道明氏
8	物流効率化とこれからの取り組み	(株)日通総合研究所 要藤洋文氏
9	SCMに於ける情報セキュリティの課題	飛天ジャパン(株) 傘義冬氏
10	物流現場力強化のための物流技術	(株)MTI 栗本繁氏
11	Webシステム開発の現状と今後	ヒューマネテック(株) 田中裕樹氏
12	情報システム構築におけるプロジェクトマネジメントの実践	ヒューマネテック(株) 吉山洋一氏
13	地図と人口統計を用いたチェーン企業のエリアマーケティング	技研商事インターナショナル(株) 市川史祥氏
14	パレットにおけるRFIDの利活用	日本パレットレンタル(株) 永井浩一氏
15	まとめ	流通経済大学 増田悦夫

表8 「ダイレクトマーケティング実践講座－春学期、新松戸」の2017年度の実施結果(56名)

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 矢野裕児
2	通信販売市場の動向とオムニチャネル化	柿尾正之事務所 元 公益社団法人 日本通信販売協会 柿尾正之氏
3	データでみる通販市場	公益社団法人 日本通信販売協会 三浦千宗氏
4	メーカー系通販の展開	ライオン(株) 乗竹史智氏
5	高島屋通販事業の歩みと百貨店通販のこれからの展望	(株)高島屋 倉田宏之氏
6	オットー・ジャパンの国内・海外でのフルフィルメントサービスとその事例 －顧客に求められるフルフィルメントサービスとは？－	オットー・ジャパン(株) 勝井武二氏
7	スクロールの変遷と今後の展開	(株)スクロール 高山隆司氏
8	UPDATE eコマース	ヤフー(株) 白山 達也氏
9	顧客満足作りのポイント「購入後満足」と「個性化」をいかに具体化するか	(株)カタログハウス 松尾隆久氏
10	スマホが変えたネットコマースと越境ECの可能性	(有)スタイルビズ 青山直美氏(村山らむね)
11	大学祭休講	大学祭休講
12	インターネット通販の展開	(株)千趣会 中山茂氏
13	オムニチャネルとラストマイル	流通経済大学 矢野裕児
14	ダイレクトマーケティングとロジスティクス	流通経済大学 矢野裕児
15	まとめ	流通経済大学 矢野裕児

る経営者、実務経験者を講師として招聘し、国際物流における最新動向、事例により、国際物流の現状と課題を把握するとともに今後の展望を学修することを目標としています。春学期に半期科目として、新松戸キャンパス

で開講しました。各回のテーマ、講師は表5のとおりです。受講生数は54人でした。

④「情報システム実践講座」の2017年度の実施状況

「情報システム実践講座」は、物流分野な

どに利用されている情報システムやその要素技術などに関わる実務者を講師として招き、具体的事例を通して最近の動向や課題などについて学びます。また、システムやネットワークの設計・開発の手法についても学びます。半期科目であり、春学期は新松戸キャンパスにて、秋学期は龍ヶ崎キャンパスにて開講しました。各回のテーマ、講師は表6、表7のとおりです。新松戸の受講生数は48人、龍ヶ崎の受講生数は19人でした。

⑤「ダイレクトマーケティング実践講座」の2017年度の実施状況

「ダイレクトマーケティング実践講座」は、近年、市場が大きく拡大している通信販売、ネット販売といったダイレクト・マーケティングをテーマに、通販業界の実務家を招き、講義を進めます。ダイレクト・マーケティングの進展は、小売業における店舗型から無店舗型への変化というだけでなく、メーカー、卸、小売のサプライチェーン、さらに物流業に大きな影響をもたらしつつあります。本講座は、このような展開を、広く学んでいきま

す。半期科目であり、春学期に新松戸キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表8のとおりです。受講生数は56人でした。なお、本講座は公益社団法人日本通信販売協会が後援しています。

⑥「ロジスティクス企業訪問講座」の2017年度の実施状況

企業がロジスティクスをどのように考え、システムを構築しているかについて、企業訪問を通じて考察します。実際の現場を訪問することによって、学生が実感として理解することを目標としています。2017年度は春・秋学期を合わせ16箇所を訪問し、現場でロジスティクス担当者が概説し、物流現場を実際に見学しました。半期科目で、企業訪問を実施することから、授業期間中の土曜日、夏季休暇中の8月から9月に集中講義で、開講しました。各回のテーマ、訪問先は表9、表10のとおりです。春学期の新松戸の受講生数は20人、龍ヶ崎の受講生数は7人でした。秋学期の新松戸の受講生数は5人、龍ヶ崎の受講生数は4人でした。

表9 「ロジスティクス企業訪問講座―春学期・新松戸・龍ヶ崎」の2017年度の実施結果
大学院生(2名)/新松戸(20名)龍ヶ崎(7名)

回	テーマ	訪問先、講師
1	企業訪問講座ガイダンス-1 ・企業訪問講座の全体像 ・訪問場所のロジスティクスの概要	流通経済大学 矢野裕児、洪京和
2	企業訪問講座ガイダンス-2 ・訪問スケジュール ・訪問時の注意事項	流通経済大学 矢野裕児、洪京和
3	物流の歴史を学ぶ	物流博物館
4	宅配便のセンター見学	ヤマト運輸(株) 羽田クロノゲート
5	小売業から物流業務を委託された物流センターの見学	SBSロジコム(株) 野田木野崎支店
6	通信販売の物流センター見学(先端物流機器の見学)	(株)ホームロジスティクス ニトリ統合発送センター
7	通信販売の物流センターの見学	オットーシャパン(株) 松戸物流センター
8	フェリーターミナルの見学	オーシャントランス(株) 有明フェリーターミナル
9	菓子メーカーの物流センター見学	スナックフードサービス(株) 物流センター
10	自動車工場の見学	日産自動車(株) 日産栃木工場

表10 「ロジスティクス企業訪問講座－秋学期、新松戸・龍ヶ崎」の2017年度の実施結果
大学院生(2名)/新松戸(5名)、龍ヶ崎(4名)

回	テーマ	訪問先、講師
1	企業訪問講座ガイダンス-1 ・企業訪問講座の全体像 ・訪問場所のロジスティクスの概要	流通経済大学 矢野裕児、洪京和
2	企業訪問講座ガイダンス-2 ・訪問スケジュール ・訪問時の注意事項	流通経済大学 矢野裕児、洪京和
3	メーカーから物流業務を委託された物流センターの見学	トーフ流通(株) 小絹センター
4	小売業から物流業務を委託された物流センターの見学	三井倉庫ロジスティクス(株) 市川事業所
5	卸売業の物流センター見学	三菱食品(株) 関東RDC
6	食品メーカーの物流センター見学	味の素(株) 久喜物流センター
7	東京港の港湾施設の見学	視察船「新東京丸」
8	小売業の物流センター見学	(株)カスミ 佐倉流通センター
9	物流改善事例の説明、物流機器の見学	TOYOTA L&F カスタマーズセンター
10	小売業から物流業務を委託された物流センターの見学	(株)丸和運輸機関 物流センター

⑦「ロジスティクス改善演習」の2017年度の実施状況

「ロジスティクス改善演習」では、物流部門の現場で発生する課題を題材として取り上げ、現状の問題点の整理を行い、各種手法を用いて改善案を検討します。この演習を受講することにより、物流システムに関する理解

を深め、分析手法を習得するとともに、分析能力や改善案を提案できる能力を習得することを目標としています。半期科目として、新松戸キャンパスと龍ヶ崎キャンパスで実施しました。各回の内容は表11のとおりで、新松戸の受講生数は28人、龍ヶ崎の受講生数は8人でした。

表11 「ロジスティクス改善演習－秋学期、新松戸・龍ヶ崎」の2017年度の実施結果
秋新松戸(28名)、龍ヶ崎(8名)

回	項目	内容
1	ガイダンス	授業のテーマと目標、実施方法、評価基準等を理解する。
2	ミニチュアシミュレータによるラック配置の立案	ミニチュアシミュレータを用いて、物流施設内のラック配置を設計する。
3	ミニチュアシミュレータによるラック配置の検討	ミニチュアシミュレータを用いて、物流施設内のラック配置を設計する。
4	ミニチュアシミュレータによるラック配置・レポート	総搬送距離を算出し、提案した配置案を分析・評価する。
5	RALCモデルによる設計	ミニチュアシミュレータにより作成したラック配置案に対応するRALCシミュレーションモデルを作成し、シミュレーションを行い、配置案を評価する。
6	RALCモデルによるシミュレーション	RALC上でラック配置を改善したモデルを作成し、シミュレーションを行い、改善案を評価する。
7	ラック配置シミュレーション・レポート	ミニチュアシミュレータおよびRALCシミュレーションモデルについて分析し、レポートを作成する。
8	サプライチェーンゲームの概要	サプライチェーンゲームの概要を理解し、ゲームの実施方法を習得する。
9	サプライチェーンゲームの実施	サプライチェーンゲームを実施する。
10	サプライチェーンゲームの実施	サプライチェーンゲームを実施する。
11	サプライチェーンゲームの分析	エクセルを用いて、サプライチェーンゲームの結果を評価・分析する。
12	サプライチェーンゲーム・レポート	サプライチェーンゲームのレポートを作成する。
13	物流部門におけるCO ₂ 排出量の算出	物流部門におけるCO ₂ 排出量の算出法を学習する。
14	モーダルシフトによるCO ₂ 排出量の解析	事例データを用いて、モーダルシフトによるCO ₂ 排出量の削減量を算出する。
15	モーダルシフトによるCO ₂ 排出量・レポート	モーダルシフトによるCO ₂ 排出量の削減に関するレポートを作成する。

⑧「全国通運連盟寄付講座」の2017年度の実施状況

「全国通運連盟寄付講座」は、鉄道貨物輸送をテーマとして、物流博物館、ＪＲ貨物、鉄道利用運送事業者、荷主企業の実務者を招

き、鉄道貨物輸送の現状、課題、今後の展望を広く学びます。半期科目であり、新松戸キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表11のとおりです。受講生数は42人でした。

表12 「全国通運連盟寄付講座」の2017年度の実施結果(42名)

回	項目	内容
1	ガイダンス	流通経済大学 林克彦
2	物流の歴史(1)	物流博物館 玉井幹司氏
3	物流の歴史(2)	物流博物館 玉井幹司氏
4	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(1)	日本通運(株) 梶田秀幸氏
5	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(2)	センコー(株) 堀江麻里氏
6	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(3)	SBSロジコム(株) 青柳大氏
7	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(4)	(株)丸運 岡本将一氏
8	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(5)	芳賀通運(株) 塚本貴士氏
9	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(6)	熊谷通運(株) 田島崇晴氏
10	JR貨物に関する知識(1)	日本貨物鉄道(株) 吉田真也氏
11	JR貨物に関する知識(2)	日本貨物鉄道(株) 入江宏紀氏
12	日本経済と鉄道貨物輸送ネットワークのあり方について	流通経済大学 林克彦
13	荷主企業における物流と鉄道コンテナ輸送(1)	(株)ブルボン 稲田浩氏
14	荷主企業における物流と鉄道コンテナ輸送(2)	アサヒビール(株) 千田悠氏 麒麟ビールプロジスティクス(株) 福岡直哉氏
15	講義のまとめ	流通経済大学 林克彦